

ENERGY STAR 適合製品の 「出荷時」および「試験時」におけるディスプレイ輝度に関する情報

ENERGY STAR ディスプレイ製品基準バージョン 6.0 第 1 草案 付属資料

現行の基準改定において、EPA は、テレビジョン受信器の現行バージョン 5.3 基準とバージョン 6.0 基準草案に使用されている方法と一致するように、すべてのサイズの製品を最大輝度の 65%以上の輝度で試験し出荷するように提案している。ディスプレイ基準バージョン 6.0 に対するこの新たな提案は、ENERGY STAR パートナーに対して「出荷時」輝度と最大輝度の両方を報告することを求めている。

ディスプレイ基準バージョン 5.1 では、画面解像度が 1.1MP 未満の場合には 175 cd/m²、画面解像度が 1.1MP 以上の場合には 200 cd/m² のいずれかの規定輝度で試験することを求めているが、現行の ENERGY STAR 適合製品一覧は、対角線画面サイズが 30 インチ未満の被試験製品の多くが、既に最大輝度の最低 65%の輝度を使用していることを示している。また現行の ENERGY STAR 適合製品一覧は、対角線画面サイズが 30 インチ～60 インチである多くの被試験製品が、最大輝度の最低 65%の輝度を使用していることも示している。この分析は、ENERGY STAR 適合製品一覧に掲載されている、2011 年 3 月時点における ENERGY STAR ディスプレイ基準適合のディスプレイモデル 1,147 台に基づいたものである。

図 1 は、対角線画面サイズ 30 インチ未満の現行適合製品における「出荷時」と「試験時」の輝度を示しており、図 2 は、対角線画面サイズ 30 インチ～60 インチの現行適合製品における「出荷時」と「試験時」の輝度を示している。両方の図ともに、この要件を既に満たしている製品の割合が高いことを示している。

図 1: 対角線サイズ 30 インチ未満のディスプレイにおける輝度の分布

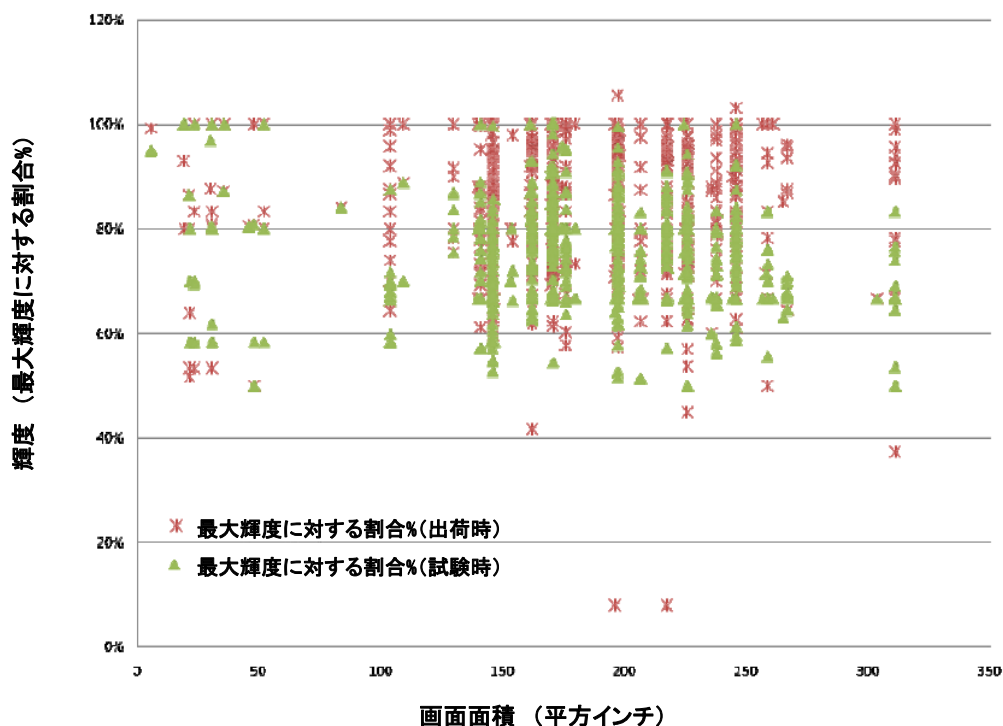


図 2: 対角線サイズ 30~60 インチのディスプレイにおける輝度の分布

